



使用上の注意 (必ずご使用の前にお読みください。)	
してはいけないこと	
(1) 人体に使用しないこと。 (2) 噴霧での使用をしないこと。 (3) 酸性の製品や、その他の製品と混合や併用しないこと。	
<b>相談すること</b>	次の場合は直ちに使用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者にご相談してください。
(1) 誤って、原液や希釀液を飲んだとき。 [応急処置：吐かせることはせず、多量の水や牛乳、生卵などを飲ませる] (2) 誤って、原液や希釀液が眼に入ったとき。 [応急処置：水道水などのきれいな水で十分に洗い流す] (3) 使用中または使用後に発赤、腫れ、かゆみ、灼熱感、水泡などの皮膚症状があらわれた場合。	
<b>■効能・効果 素菌消毒</b>	
<b>■用法・用量 (公衆衛生)</b>	
用 法	用 量
飲 用 水 の 消 毒	水量に対して遊離残留塩素を0.1mg/L(結合残留塩素の場合は0.4mg/L)以上保持するよう投入、注入、滴下して消毒殺菌します。*具体的には消毒しようとする水質によって異なりますが、目安としては水量1000Lに対し、本剤約17mLを投入、注入、滴下し、残留する塩素濃度を測定確認し、本剤の量を増減してください。
飲 食 器 具 の 消 毒	本剤の300倍液(水1Lに対して本剤約3.3mL)へ対象物を洗浄、水洗いした後数分間浸して消毒殺菌します。食品製造器具の消毒
医 療 器 具 の 消 毒	本剤の300倍液(水1Lに対して本剤約3.3mL)へ対象物を洗浄、水洗いした後数分間浸して消毒殺菌します。
病院のシーツ、包帯、白衣、おしめ等の漂白を兼ねた消毒	本剤の100倍～200倍液(水1Lに対して本剤約10mL～約55mL)へ浸して漂白、消毒殺菌します。

用 法	用 量
水泳プール水の消毒	プールの水量を測定し、残留塩素を0.4mg/L以上保持するよう投入、注入、滴下して消毒殺菌します。*具体的には消毒しようとする水質によって異なりますが、目安としては水量1000Lに対し、本剤約17mLを投入、注入、滴下し、残留する塩素濃度を測定確認し、本剤の量を増減してください。
浴槽・浴室等の消毒	本剤の300倍液(水1Lに対して本剤約3.3mL)にて消毒殺菌します。
便 所・便 器 の 消 毒	本剤の25倍～300倍液(水1Lに対して本剤約40mL～約3.3mL)にて洗浄もしくは拭いて消毒殺菌します。

#### ■用法及び用量に関する注意

- (1) 用法・用量を守り、それ以外の使用をしないでください。
- (2) 使用に際しては、十分に換気してください。
- (3) 原液や希釀液の中に長く手を入れたり、荒れ性の方が使用する場合は、ゴム手袋などを着用してください。
- (4) 鉄、ブリキ、銅などの大部分の金属はさびますので使用を避けてください。
- (5) 衣類などに本剤をつけますと、強い漂白力があるため脱色しますので注意してください。
- (6) 化学繊維、皮革、毛、綿製品への使用は避けてください。
- (7) 編を原液や濃厚希釀液に浸し密閉保存した場合、条件によっては発熱、塩素ガスの発生などがあります。

#### ■成分 次亜塩素酸ナトリウム 6%

#### ■保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光を避け、なるべく涼しい所に密栓して保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。(誤用や品質変化の原因になります。)
- (4) 使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。なお、使用期限内であっても開封後は品質保持の点からなるべく早く使用してください。

#### ■お問い合わせ先

学術情報室 電話番号: 03(3263)6201  
受付時間: 9時から17時まで(土曜日、日曜日、祝祭日を除く)